



す が の No.4

学校教育目標： 「ジャンボ！」 菅野っ子 ～共に生きる～

目指す子ども像：変化の激しい21世紀をたくましく生き抜いていく 菅野っ子

すすんで考え挑戦し続ける子 がんばりやでたくましい子 のびのびと心豊かな子

「いのちの学び」

校長 松永 裕思



4月から、全校すいか畑を作り、みんなで収穫を夢見て育てています。6年生がその畑の名前を「すがの paradice」と名付けてくれたので、看板を作り、掲げます。7月4日の朝会では、名付け親の6年生が、名前への思いを全校のみんなに語りました。

校長室前では「メダカ」「オオクワガタ」「蚕」「スズムシ」を飼っています。特に蚕は、ある保護者の方に教えていただいたのですが、大学の学園祭でほしい方にはくださるといので、いただきに行ってきました。本校には、桑の木もありましたので、桑の葉を食べる様子、繭を作る様子や成虫になった姿を子どもたちにも見せたいと考えました。

新しい桑の葉を置くと、むしゃむしゃと食べる音が聞こえます。

自分の体に糸を巻き、繭を作る姿も愛らしいです。繭は白だけでなく、黄色やピンク色もあります。生糸を取ろうとも思いましたが、かわいそうで羽化させました。

このような取り組みを行っているのは、子どもたちにできるだけ『いのち』にふれる機会を持たせたいといつも考えているからです。

子どもたちの成長の過程で、様々な力をつけ育ててほしいと願いますが、一人一人がひとつ持っていて、一番大切である「いのち」については、一番大事にしてほしいものです。

感受性が豊かな小学校時代に、多くのいのちに触れる体験を通して、いのちの尊さ、実感してほしいです。

スイカ畑のすいかも大きいのは、ソフトボール大になりました。



幼虫



羽化したばかりの成虫



いっぱいの卵

『今年もプール学習』 始まりました

6月19日(月)、天候にも恵まれ、今年度最初のプール学習を6年生から始めました。

その前の週には、多くの保護者の方々がボランティアとしてプール清掃に関わって下さいました。6年生も一生懸命にプールとプールサイドを綺麗にしてくれました。ありがとうございました。

周りをすべて海に囲まれた島国日本は、水に対する備えを万全にしていく必要があります。

最終的には、水を怖がらず泳げることと水に対する畏敬の念を持たせることが大切だと考えます。

夏は始まったばかりですが、今年もすでに水難事故で命を落としてしまったニュースが何件も流れています。

『ジャンボ! 菅野っ子』は、安全に楽しく泳力を身につけていってほしいと願います。



本物にふれる学び「芸術鑑賞教室」

コロナ禍で3年間実施できなかった芸術鑑賞教室を6月12日(月)行いました。

劇団「風の子」による『ちえんじ 図書室のすきまより』です。

物語の中には、たくさんのメッセージが込められていました。

「かっこつけない はだかの自分で生きていくこと」

「自分の好きなことは何?」

「心の扉を開いていこう」・・・

子どもたちはどんな思いをもったのでしょうか?

子どもたちの感想を読ませてもらうと

『好きなことをほこりに思っがんばろうと思いました。』

『自分の好きなことがあるということは大切なことだと思いました。』

『自分も夢に向かってがんばります!』

『表現力がすごい!』

『私も演劇をやってみたい!』等

素敵な思いを持っていました。



7月の予定

3日(月) 委員会

4日(火) 朝会

5日(水) クラブ活動

6日(木) なかよし草取り

10日(月) ~14日(金)

個人面談

18日(火) 給食最終

19日(水) 大そうじ

20日(金) 終業式

9月1日(金)

始業式&引き渡し訓練



今年の夏休みは全校で「子どもアイデアコンテスト」に挑戦です!

これは、「未来にあったらいいな!」と思うものを創造し、イラストで表現するものです。

これにより「夢を持つこと」「挑戦すること」「創造すること」の大切さや楽しさを感じてほしいと願っています。

最終審査に残ると、審査委員長茂木健一郎さんたちの前でプレゼンができます。

本校の子どもたちに付けたい力の一つである「伝え合う力」の育成にも大きくつながります。

今よりもっと素敵な世の中になるよう創造してみてください!!